



川崎市障がい者スポーツ 指導者協議会NEWS

第 40 号 2022 年 7 月発行

2022 年度(令和4年度)川崎市障がい者スポーツ指導者協議会総会報告

4月16日(土)に川崎市中部身体障害者福社会館にて、2022年度の総会が開催されました。川崎市や川崎市障害者スポーツ協会から来賓も列席され、会員11名が参加して今年度の事業計画、会則の変更及び表彰者の決定等が承認されました。
また、総会に先立ち、山戸副会長に令和3年度日本パラスポーツ協会会長表彰(功労章)の賞状と記念品の授与を実施しました。

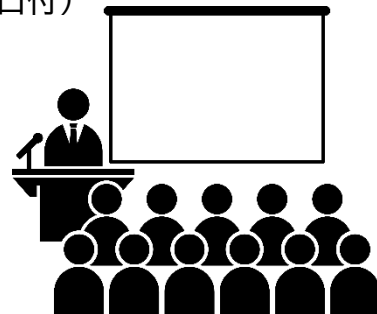
<承認された議題>

- ① 2021 年度事業報告書及び決算報告書
- ② 2022 年度事業計画書及び収支予算書
- ③ 川崎市障がい者スポーツ指導者協議会会則の改正(令和4年4月1日付)

主な変更点(各条文間の整合、定義の明確化、字句の修正)

- ・会費の変更
- ・役員の選任方法および任期
- ・総会の開催
- ・議決について

- ④ 2022 年度表彰者の決定、表彰制度の改正(令和4年4月1日付)



※当日の資料は当協議会のホームページに掲載しています。

<主な質疑応答>

Q:令和3年度スキルアップ研修会の内容と参加人数を教えてください。

A:内容は「パップトークを学ぼう! ~気持ちを上げる言葉かけ」。参加者は12名。

Q:事業報告書2ページの3行目に「これまで会員の研修を実施していなかった」とあるが、実施していないのか。

A:過去には研修を実施していたが、最近では研修を実施していない。

Q:大会実施要領を大会前に事前配布しているが電子メールがない指導者にはどうしているのか。

A:FAX を流している。なお現在のメールアドレス登録者は約170名程度。(令和4年4月時点)

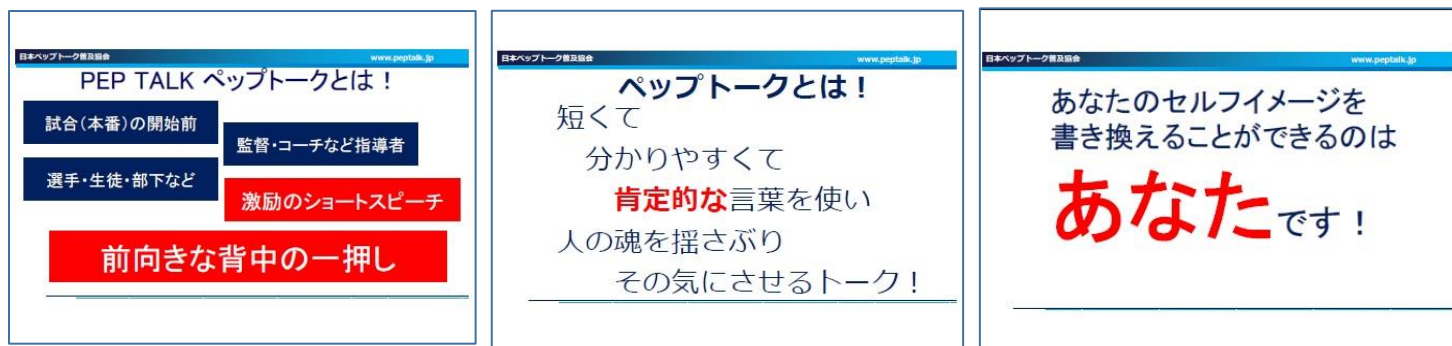
Q:20周年記念事業をいつ実施するのか。

A:内容を検討して実施する予定。開催日程については令和4年7月20日にこだわっていない。

指導者協議会スキルアップ研修をオンラインで開催しました

3月13日(日)に指導者協議会スキルアップ研修として、「ペップトークを学ぼう！～気持ちを上げる言葉かけ～」をオンラインで開催しました。講師に日本ペップトーク普及協会代表理事の岩崎由純さんをお迎えして、選手への声かけの方法などについて学びました。

研修後のアンケートでは、「具体的な声かけを学ぶことができ自分自身がポジティブであることが大事だと思った。家庭や仕事でもつかえるスキルだと思いました。」といった感想が寄せられました。またオンライン研修への好意的な意見が多く、さらに活用していきたいとの意欲ある回答がありました。



講師との質疑応答

Q:緊張が高い状態と低い状態にある選手を見極める基準は、態度や言語など様々な場面に現れると思うのですが、岩崎先生はどのように見極めているのか教えていただきたい。

A:自分の場合は、普段の生活や練習中などのコミュニケーションの中で、選手がどのような感情の表出をするタイプなのかを観察・把握するようにしていました。あまり表情に出さない子でも、内面的にはメラメラ盛り上がっていることもあるので、相手の緊張レベルを見た目で決めつけないことを意識していました。短くて分かりやすい「問い」を使うことで把握していました。

Q:緊張を高めようと声かけして高まり過ぎてしまい、緊張を抑えようと声かけして抑え過ぎてしまったり、失敗体験も多いのですが、是非ポイントがあれば教えていただきたい。

A:失敗を認識された場合は、それを生かして次回の声かけの参考にされると良いと思います。問題は、それが成功だったか、失敗だったかが分からない時なので、自分が外から声かけによって緊張感や興奮度を変えるのではなくて本人が調整するお手伝いをするようにしていました。高まり過ぎていたりか、低過ぎるとかは見ても分かるので、「下げた方が良い」「上げた方が良い」かも知れないことは、本人が気づいていない時に伝えます。ですから上げるか下げるかの方向性は示しますが、どの程度の微調整は自分で考える習慣をつけさせるようにしていました。自ら考え、調整する習慣を身につけると、次のステージ(例えば中学から高校、高校から社会人、アマからプロ)に進んだ時も、生きていける可能性が高まるからです。

Q:ペップトークの時に言葉の抑揚や大きさなど、気をつけたいことを教えてください。また、顔の表情も教えてください。

A:語り手の本気度は、見た目で決まると言われています(メラビアン法則)。ですから、表情や身振りや手振りなどは真剣に考えています。また大事な部分を「はっきり、くっきり」伝えるために、キーワード前後に「間」をとったり、その言葉をあえて「ゆっくり」(緩急)話したり、声の「大きさとトーン」を変えたりしていました。聴く側が、話が終わった瞬間に行動を起こせるように、「何をどうするのか、具体的なイメージができる」ように伝えることが大事だと思います。

川崎市障がい者スポーツ指導者協議会表彰制度

昨年度、障害者スポーツの発展に功績のあった者を表彰し、もって障害者のスポーツ振興に資することを目的として表彰制度が新設されました。

対 象:川崎市障がい者スポーツ指導者協議会で募集した総会、研修、大会ボランティア、総会アンケート及び大会ボランティア参加意向アンケート(3月・8月実施)(以下「大会等」という。)に参加(提出を含む)された者

新人功労賞:表彰対象年度(4月から3月までの1年間)を含めて、3年度以内に新規に登録した障害者スポーツ指導者で、年度内で大会等の参加数が多い者

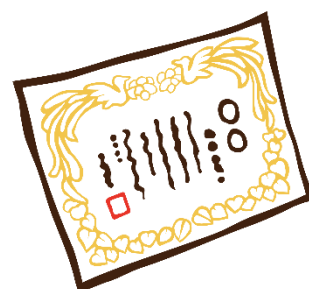
功労賞:新人功労賞の対象者以外のもので、年度内で大会等の参加数が多い者

令和4年度表彰者

表彰制度に基づき、次の方を表彰し、賞状と賞品を授与しました。

功労賞:安保徳子さん

新人功労賞:佐藤和之介さん 高橋曜一さん 山口和之さん



会長挨拶

このたびは受賞おめでとうございます。皆様の活動に支えられて今日の指導者協議会があります。今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げますとともに、健康に楽しく活動が続けていただけますように引き続きよろしくお願いいたします。

受賞者コメント

功労賞:安保徳子さん

このたびは、功労賞をいただき、誠にありがとうございます。
これもひとえに、ご指導いただく指導者協議会の方々や、一緒に活動するボランティアの皆さまに恵まれていたからこそ、辿り着くことができたことと、深く感謝申し上げます。
ボランティアに参加させていただく時には、その時の状況や、参加してくださる方の気持ちを大切に、形にとらわれずに、柔軟に対応していくことを心がけています。
そして、楽しかったな。来てよかったな。また来たいな。と思ってもらえたらうれしいです。
今後、参加者の皆さま、そしてボランティアをする側も、幅広い世代の方々がいろんな競技を知り、経験し、さらに人との出会いの機会が増えることを願っています。これからも、自分ができることをボランティアの一員として、やっていきたいと思います。
このたびは、本当にありがとうございました。

新人功労賞：佐藤和之介さん

この度は、「新人功労賞」という名誉ある賞を授与していただき、誠にありがとうございます。このような素晴らしい賞をいただき、大変光栄に感じるとともに、心より嬉しく存じます。これもひとえに貴協議会のご指導とご支援ならびに、家族の理解と協力の賜物による受賞だと実感しております。改めて関係各位に深く感謝するとともに厚く御礼申し上げます。

ボランティアは裏方として目立つことは少ないですが、大会を安心安全かつスムーズに運営するために確実になくはないものだと考えています。これまでも、スポーツは「見る」、「する」だけでなく「支える」という立場があることは認識していましたが、活動に参加する中でその必要性を改めて実感いたしました。

最後に、貴協議会のお力になれるよう、これからも努力してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新人功労賞：高橋曜一さん

この度は、新人功労賞をいただき、ありがとうございます。

また、ボッチャや卓球バレーなど初めて経験するスポーツばかりで戸惑うこともありましたが、スタッフの方や先輩方に丁寧に教えていただき、重ねてお礼申し上げます。

安全な環境を整えることにより、気軽にスポーツを始めるきっかけになってもらえるよう、活動に参加しております。そのなかで、大切に思っていることは、障がいのある人もない人も一緒になって一喜一憂でき、参加者も私自身も「今日は楽しかった！」と思えるよう心がけています。コロナ禍の影響もあり、まだまだ経験不足ですが、これからも色々な面で理解を深めていき、一歩ずつ長く継続していきたいと思っています。

今後ともご指導の程、よろしくお願いいたします。

新人功労賞：山口和之さん

明日の成長、今日の種

決して、私はスポーツを得意とはしていない。小学校の時に、担任の先生から「運動音痴」ならずとも「スポーツ音痴」と言われ、心にこびりついて体育の授業は、あまり好きでもない。また、集団（グループまたはチーム）の一員として、プレイ（競技）に加わって、その集団を勝利に導くことをしたいと思わない。観戦して応援することやアイドル的なアスリート選手さえも好きではなかった。私が今でこそ、スポーツ（パラスポーツも含む）で選手や審判そして観戦するきっかけは、今の職場で、障がい児と呼ばれる子どもたちとの出会いで、その子たちには何の罪もないのに、他の同年代の子と差別をつけられていた。勉強や運動だって、一所懸命に行って、その分の時間と努力をし、仲間になろうとしている。こんな姿を見て、スポーツは、大人と子ども、男性と女性、健常者と障がい者など関係ないと気付かされた。卒業式に卒業生が「スポーツは出会うから楽しい」と言われた言葉の種が、心にやどり成長している。明日も。

障害者スポーツ大会 活動報告

水泳大会 4月24日(日) 会場:多摩スポーツセンター プール



水泳大会にボランティアとして初めて参加しました。選手の誘導を担当し、難しい役割ではなかったが、泳ぎの早い選手の場合は少し慌てる場面もありました。そんな中で感じたことは、他のボランティアの方々との連携です。お互いの役割を個々にこなすことは十分できても、その連携がうまくいかなければ選手に戸惑いを与えかねません。事前に全員でなくともリーダー同士ですりあわせを行う必要があると

強く感じました。他のスポーツ大会でもリーダー同士でコミュニケーションをとったりしています。選手主体の大会ですが、だからこそ役員・ボランティア・観客が一体となり協力をして大会を成功させなければならないと思います。

選手のはつらつとした泳ぎには感動するものがあり、自分も頑張らなければいつも力をもらっています。今後も自身の競技のみならず、いろいろなスポーツを通してボランティア活動を積極的に行っていきたいと思います。(玉川)

陸上競技大会 5月29日(日) 会場:等々力陸上競技場



今年度は「with コロナ」の中、選手には事前に健康チェック、当日は、入口にて検温、アルコール消毒、競技中以外はマスク着用をお願いしました。今年度は指導者協議会から19名、日本体育大学、東海大学から多くの学生がボランティアとして参加してくれました。昨年までと違う点は、ソーシャルディスタンスがどの場面でも求められることから、密が予想される競技

前待機所や表彰ブースにテントを増設して実施されました。

コロナ禍で、練習が満足にできなかったという声がありましたが、全国大会の予選会でもあるこの大会ですので、選手の皆さんは、持てる限りの力を発揮されていました。

今まで参加されなかった団体が参加された半面、例年出場されていた学校がコロナの影響で出場を見合わせられたということもありました。なかなか終息が見えないコロナですが、工夫をしながらスポーツを楽しんだり、ボランティア活動ができるようになったりするといいなと思いました。(小泉)

卓球大会 6月4日(土) 会場:高津スポーツセンター 大体育室



色とりどりの紫陽花が咲く中、卓球大会に参加しました。今年度から指導員になり2回目の参加です。役割はあっても何をしたらよいのかわからない私に、先輩指導員さんや地元卓球愛好家グループの方が気さくに声をかけてくださいました。

障害の種別も様々な選手の皆さんがどういうゲームをしていくのか、心配であり楽しみでもありました。し

かし、心配は不要で選手の皆さんは、お互い声を掛け合って楽しそうにプレイしていました。両者一歩も譲らず白熱したゲームでは、観ている私も思わず声が出そうになりましたが、コロナ禍で声は出せなかったので心で声援を送りました。

選手の皆さんが楽しめる機会がどんどん増えるといいと思います。

自分もできる範囲で楽しく、長く関わっていきたいです。(若杉)

全国障害者スポーツ大会が10月に栃木県で開催されます。

令和4年10月29日から31日までの3日間、栃木県にて「第22回全国障害者スポーツ大会 いちご一会とちぎ大会」が開催されます。川崎市からは60名(選手30名、役員30名)の選手団が参加予定です。指導者協議会からも石田会長(ボッチャコーチ兼副総務)をはじめ、浅井政司さん(陸上競技介助)、坂本麻理子さん(水泳介助)、藤田祐司さん(水泳コーチ)、野田聖志さん(卓球副総務)の5名がそれぞれの所属から派遣されます。選手が活躍できるように、川崎からも大きな声援を送りましょう。大会の様子は次号にてお伝えいたします。



大会スケジュール

競技名	日程	会場
陸上競技	29日(土)～31日(月)	カンセキスタジアムとちぎ (宇都宮市)
水泳	29日(土)～31日(月)	日環アリーナ栃木屋内水泳場 (宇都宮市)
アーチェリー	30日(日)	那須烏山市緑地運動公園多目的競技場 (那須烏山市)
卓球(STTを含む)	29日(土)～31日(月)	TKC いちごアリーナ (鹿沼市)
フライング ディスク	29日(土)～31日(月)	栃木市総合運動公園陸上競技場 (栃木市)
ボッチャ	29日(土)～30日(日)	三和住宅にしなすのスポーツプラザ 体育館(那須塩原市)

川崎市障がい者スポーツ指導者協議会設立 20 周年記念事業を行います。

令和4年7月20日に当協議会は設立20周年を迎えました。それを記念した事業を実施する予定です。また、あわせて、ポロシャツか T シャツを作成して、指導者にも販売予定です。詳細は別途お知らせいたします。

川崎市リハビリテーション福祉センター体育館がリニューアルオープン

川崎市リハビリテーション福祉センター体育館が、令和3年度の改修工事を終え今年5月6日より『中部リハビリテーションセンター井田体育館』として運営を開始しました。

今までの『夏は暑く冬は寒い』状況を払拭するべく、館内フロアと各部屋には冷暖房を完備しました。多くの利用者様から「快適に運動ができた」とのお声を頂いています。更に改修前はデッドスペースだった2階に、プロジェクターを使い動画に合わせて運動できる『フィットネスルーム』、車いすのままでも使えるマシンを導入した『トレーニングルーム』が誕生しました。

また今年度より体育館専属の理学療法士を配置し、運動がしたくてもなかなかできなかった障がい者を対象に、運動の機会をつくる『自分からチャレンジ相談』に取り組んでおり、相談を受けたり対象者の体組成を計測できる『相談室』を設けました。

今後も利用者様のお声を頂きながら、ニーズに応えられる体育館を目指していきます。(矢島)



外観

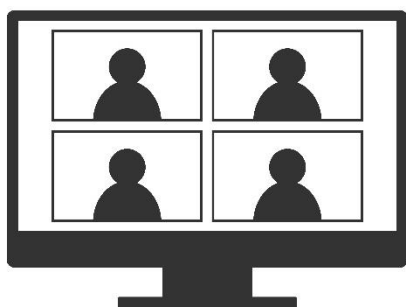


アリーナ

協議会員が利用できる Zoom アカウントの運用がはじまりました

当協議会で Zoom アカウントを取得しましたので、皆さま是非活用してください。協議会員であれば誰でも使用できるので、使用を希望される方は下記アドレスまでご連絡ください。日時をスケジュールしてアドレスを共有いたします。

Zoom 予約アドレス: kawakyougikai@gmail.com



大会等ボランティア意向アンケート

当協議会の『大会等ボランティア意向アンケート』については、上期(3月)及び下期(8月)の年2回郵送しております。大会等ボランティアが可能な方は送付された『大会等ボランティア意向アンケート』に記入し、当協議会まで提出してください。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、中止や変更等する場合があります。その際は、当協議会のホームページに掲載いたしますので、ボランティア参加予定の方は必ず確認してください。

提出期限:2022年(令和4年)8月19日(金)必着

大会等ボランティア意向アンケートのインターネットでの回答について

今後『大会等ボランティア意向アンケート』は、インターネットからも回答できるようになります。今回は体験版のため、インターネットで回答した方も書面提出は必要です。なお、体験版は8月8日から使用可能予定です。

以下のアドレス・QRコードを読み込んで入力してください。

<https://forms.gle/HNcqVPSk49KAYzyp7>



入力がうまくいくと記入いただいたメールに確認メールが届きます。
迷惑フォルダなどに移動していることもありますのでご確認ください。

アンケートフォーム
QRコード

メールアドレス登録のお願い

年度途中に新たに募集を行うボランティア等については、メールにて募集を行っています。また新型コロナウイルス感染症に関する情報提供やボランティア参加者には大会前に実施要領の送付等の活動に役立つ情報を発信しております。是非、メールアドレスの登録をお願いします。

《メールアドレス登録方法》

『大会等ボランティア意向アンケート』のメールアドレス記載欄に記入するか、下記の当協議会のメールアドレスまでメールをお送りください。

なお、メールアドレスを登録しているのに、当協議会からのメールが届いていない方がいらっしゃいましたら当協議会までお知らせ下さい。

発行:川崎市障がい者スポーツ指導者協議会事務局

住所:〒210-0834 川崎市川崎区大島1-8-6 川崎市身体障害者協会内

HP:<http://kawakyougikai.gouketu.com/index.html>

E-Mail:kawakyougikai@gmail.com



指導者協議会HP
QRコード